

週案

園長印		副園長印		確認印	
-----	--	------	--	-----	--

歌 とけいのうた 水あそび

5歳児 6月2週 (6月7日～6月11日) 保育日数 37日～40日

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを言葉で友達に伝えようとする 水に触れる気持ちよさを感じながら遊ぶ 	内容	<ul style="list-style-type: none"> 思い思いに作った作品の頑張ったところや好きなところを友達に話す 水に積極的に水に触れながら、的あてや水鉄砲をして遊ぶ
幼児の姿	<p>・時計の製作では、実際の時計を見ながら数字を貼ったり、自分の好きな絵を描いたりして思い思いに製作をしていた。次の週に自分の好きな時計に仕上げるため、どんな時計を作りたいかを聞くと「腕時計がいい」「幼稚園の時計がいい」と教師に話してくれた。材料に関しても様々なアイデアが出て、次の製作を楽しみにしている様子だ。</p> <p>・中央幼稚園との交流会では、初めての場所に戸惑う様子が見られたが、初めての遊具を見ると「早く遊びたい」と言って遊び始めていた。知らない友達にもすぐに慣れ遊び始める幼児もいれば、いつも遊んでいる友達と遊んでいる幼児もいたが、楽しそうに活動に参加したり遊んだりできていた。</p> <p>・2回目の個人絵の具の活動だったため、準備や片付けもスムーズにできていた。絵の具がクレヨンをはじいたとき「すごい」と言って驚いていた。</p>	教師の援助	<ul style="list-style-type: none"> 時計の製作では、本物の時計の写真を見たり、周りにある材料を見たりしてイメージを膨らませられるようにする。なかなか進まない幼児には提案をしたり質問をしたりして作っていく。最後の発表の時間では、上手に伝えられない幼児もいると考えられる。発表できないことが恥ずかしいことではないことや得意不得意があることなどを伝え、その中でも頑張った部分を褒め幼児の自信に繋げていく。 火災避難訓練では、地震のときの避難の仕方との違いを知りながら訓練に参加できるようにする。終わった後は、全員で振り返りを行い次回の避難訓練に繋がられるようにする。 年長組になって初めての水遊びになるため、準備の仕方や着替えの仕方をクラスの幼児と一緒に確認してから行う。的を作ったり、手作り水鉄砲を用意したりして水遊びを存分に楽しめるようにする。

日 7日(月) 8日(火) 9日(水) 10日(木) 11(金)

予想される活動

好きな遊びをする (固定遊具、泥遊び、鬼遊び、ままごと、お絵描き、製作など) →

振替休業日

製作 (時計)

- 自分のイメージしたものを作っていく
- 作ったものを見せたりして、みんなに発表する

泥遊びをする

泥だんごを作ったり、泥山で滑ったりして遊ぶ

避難訓練 (火災)

火災の合図を聞き、落ち着いて避難する

水遊び

- 水着に着替える手順を知る
- 園庭で水遊びをする
- 着替えをする

誕生会 (6、7月生まれ)

9:40～

- 誕生日の友達の紹介・インタビュー
- 園長先生のお話
- 出し物
- 各クラスでおやつを食べる

環境の構成

- 時計の製作では、あらかじめ聞いておいたアイデアをもとに使いそうな材料を用意しておく。材料ごとにコーナーを分け、自分たちで自由に材料を取りに行けるようにする。発表する台を用意しておき、作品が見えやすいようにする。
- 水遊びの着替えの際には、間隔を取って着替える。飛沫のリスクを伝えられるように紙芝居を読んでから水遊びを行い、コロナウイルス対策を意識して活動に参加できるようにする。水遊びをした日には、疲れもたまりやすいのでゆっくり休息できる時間を設け、無理なく活動を進める。

備考	振替休業日	教育支援担当訪問 実習生	わくわく弁当 避難訓練	水遊び開始
----	-------	-----------------	----------------	-------